

2023 年 2 月 13 日

膜誌 48 巻 4～5 号(2023 年 7, 9 月発行) 「若手特集号」 原稿公募について

日本膜学会 膜誌編集委員長
岡村 恵美子

日本膜学会 会員各位、指導教員各位

いつも膜学会の活動を盛り上げていただき、ありがとうございます。さて、過日の膜編集委員会におきまして、本会の学会誌「膜」48 巻 4～5 号(2023 年 7, 9 月発行) を「若手特集号」とし、若い世代の会員から原稿を募集することが決まりました。

膜学会の若い世代の研究者に研究の将来構想、研究に関する夢や想いなども含めて記事にしていただき、学会発表とは異なる形での情報発信を通して、次代の膜科学・膜工学を担う研究や研究者間の議論がさらに活発になることを期待するものです。

若手会員の皆様には、ご自身の研究を広く知ってもらい良い機会であり、自身の研究を簡潔にまとめて紹介する貴重な体験になることと思います。実績にもつながります。研究室の先生とも相談の上、奮って投稿いただきますようご案内いたします。詳細は下記をご覧ください。

記

「若手特集号」記事について

1. 若手会員とは、大学院生（修士課程・博士課程）、博士研究員、任期付助教、助教、講師、准教授またはこれらに準ずる職位で、概ね 45 歳程度までの膜学会会員とする。企業会員も上記に相当するものとする。
2. 原稿締切は 2023 年 5 月末日とする。
3. 記事の内容は、
 - ・ご自身のこれまでの研究紹介と今後の展望
 - ・ミニレビュー
 - ・博士論文の紹介
 - ・留学体験記など

投稿前に上司や指導教員とよく相談すること。

4. 刷り上がり 3～5 ページ程度とする。膜誌テンプレートを使用すること。
5. その他、投稿規程に準じて原稿を作成すること。

https://www.maku-jp.org/content/files/maku/rules_20150910J.pdf

6. 原稿送付先: 日本膜学会事務局 電子メール: membrane@mua.biglobe.ne.jp
7. なお、掲載原稿には薄謝 (図書カード 2,000 円) を予定しています。

指導教員の先生方へ:

若手会員からの投稿件数をあらかじめ把握できればと思います。先生方には所属研究室の若手会員に積極的にお声がけいただくとともに、事務局宛、事前に投稿件数をお知らせいただければ幸いです。